

ありがとうございます ございます

2022年1月から2022年12月末まで
ご寄付いただいた方々

(敬省略 順不同)

心より感謝し、ご報告申し上げます。

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| 池本 道江 | 山下 誠 | 岡本 岳大 |
| 門脇 朋美 | 植原 守利 | 前田 修志 |
| 迫田 伊藤 | 広徳 生田百合子 | |
| 徳田恵理子 | 九鬼 全弘 | 桑田 幸人 |
| 臼田 拓巳 | 岩山 雅代 | 今井 隼人 |
| 佐倉 千尋 | 白水 諭 | 長谷川ノブアキ |
| 相見 楓子 | 山部 恵 | 河本 準一 |
| 松田 嘉人 | 福長 洋也 | 武田真由美 |
| 桑名 紗織 | 堀内 幸子 | 岸本 優子 |
| 松井 律子 | 臼田 仁 | 米田 勝彦 |
| 岸下 淳子 | 堀 康子 | 柿田美賀子 |
| 秋草 悦子 | 中村まゆみ | 竹本 圭秀 |
| NO法人ともまきくらぶ | 株式会社 童話館 | |
| B N R | 倉吉市更生保護女性会 | |
| 倉吉地区更生保護女性会 | 成徳地区更生保護女性会 | |
| 国際ノブチリスト倉吉 | 倉吉信用金庫 | |
| 日本鏡餅組合 | ナミエル | |
| 奈良聖徳イキキリスト教会 | ガイナレ鳥取世瀬啓人 | |
| 山陰中央新報社 | 倉吉キリンの会 | |
| マイスター | 最優秀労働協賛会中部支部 | |
| 吉 祥 院 | 満 正 寺 | |
| カープス倉吉 | 中四国アイスクリー協会 | |
| ゲノ同好会SKT豆腐屋 | 食卓クラブ | |

因伯だより

児童養護施設
因伯子供学園
学園報

2022年度号
(発行:2023/3)
〒682-0854
鳥取県倉吉市
みどり町3249
TEL (0858)
22-2639
FAX (0858)
47-0234



新人職員紹介



今年度から
当園で働かせて
いただいております。
ます、本高屋美
優と申します。
私は短大で保
育について学び、

保育士が活躍できる場は保育園や幼稚園だけではなく知り、児童養護施設に興味を持ちました。見学の際、初めて因伯子供学園を訪れ、職員の方々とお話をし、「私もこの職員さんと一緒に働き、子どもたちの成長を支援していきたい」と強く感じました。

働き始めて半年以上が経ち、子どもとの関わり方や対応に悩むことも多く、難しさを感じています。日々反省することばかりですが、声をかけて下さったり、相談に乗って下さったりと職員の皆様に沢山助けられ、多くの学びを得ています。また子どもたちの笑顔や何気ない会話で元気を貰っています。

株式会社イ古々スタジオ 車組 ティスタ
いきいき夢くらぶ 明治安田生命 倉吉営業所
株式会社シグナルプラス 富士総合警備保障株式会社
株式会社アミパラ チュチュ鍼灸整体院
HYAKURU 本 蔵 寺
龍 善 寺 妙 寂 寺
山陰合同銀行地域振興部内「小さな親切」運動山陰本部
日本郵政グループ労働組合 鳥取伯耆支部



▼山下誠様
自転車

▲山下誠様
漫画本

▲童話館様
絵本

ありがとうございます

います。そして子どもからも職員の皆様からも頼ってもらえるような存在になりたいです。よろしくお願い致します。



今年度から
因伯子供学園
の終ホームで働
かせていただい
ています。谷口
明咲花と申し
ます。私は幼い

頃から保育園の担任の先生に憧れて保育士を目指してました。短期大学に在学している際に授業の中で社会的養護について学び、児童養護施設が存在を初めて知りました。そして子どもたちの成長を傍で見守っていただくことが出来るこの仕事に魅力を感じ、地元である倉吉市の因伯子供学園で働きたいと強く思いました。

勤務して半年以上が経ちましたが、子どもへの対応に難しさを感じる場面があり、「もっとこうしたら良かったのかな」と振り返って反省することもあります。その都度、先輩職員の方々に相談に乗っていただき、沢山の事を学ばせてもらっています。また、子どもたちの笑顔が私のエネルギー源



▲株式会社アミパラ様
たくさんのおもちゃやぬいぐるみ



地域の皆様へ



みどり町や明倫地区の皆様、湊町や成徳地区の皆様、お支え頂いている多くの皆様、日頃から大変お世話になっております。
子ども達に対して温かいお声かけを頂いたり、地域との関わりを持たせて頂き、大変感謝しております。ありがとうございます。
今後ともどうぞ学園に対し、ご理解とご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

となっております、元気を貰いながら頑張れています。
子どもと関わる中で日々のコミュニケーションを通して、気持ちを受け止めながら寄り添って支援していけるように努めていきたいです。よろしくお願致します。



4月から因伯
子供学園の保育
士として働いて
いる吉田龍翔で
す。得意なこと
は運動をする事
です。好きな食
べ物はお寿司で、嫌いな食べ物は茄子です。

因伯子供学園を選んだ理由は、実家からも近く小さい頃から関わりのある児童養護施設で働いてみたかったからです。
学園での勤務は、色々大変で毎日眠たいけどその分、子どもとの関わりの中で成長を感じたり、子どもの笑顔からパワーをもらったりして頑張ります！

今後の抱負は、子ども達の事をもっと理解して、その子にあった支援を的確にしていきたいです。先輩方のいい

家電製品の 寄附について



毎年学園を卒業して、社会に出ていく子どもたちがおります。
家電製品で使われなくなったもの(冷蔵庫・レンジ・テレビ・洗濯機など)不要になられたものがございましたら、ご寄附いただければとても助かります。
もしございましたら、お伺い致しますので、学園(担当林原)までご連絡下さいませ。

編集後記

新型コロナウイルスのニュースに驚かされる日々が続いておりますが、少しづつ落ち着いてきており安心してるところです。
今年度の因伯だよりは例年より遅くなってしまうましたが、今年度より因伯子供学園の理事の兜坂さんと共同で編集させて頂くこととなりました。編集の仕方などお世話になりました。編集の仕方などお世話になりました。変勉強させてもらっております。
因伯子供学園を今後ともどうぞよろしくお願いたします。(林原)



所をたくさん吸収していくのでよろしくお願致します。



今年度より、
因伯子供学園の
保育士として働
かせていただい
ております、田
中翔馬と言いま
す。学生時代か

らの愛称は「たなしよー」でした。どうぞよろしくお願いたします。
因伯子供学園で働きたいと思ったのは、地域と関わりが強い施設で働くことで地域に貢献したいという思いがあったからです。

学園での勤務は、やはり体力を使っ
て疲れる時もありますが、それを乗り
越えた先にある子どもたちの笑顔を見
るととても幸せに
なります。それを見
るとまた頑張ろう
という気持ちがあ
ってきます。
これからも精進し
て頑張っていきたい
と思いますので、ど
うぞよろしくお願
いたします。



ちまき作り

今年度も新型コロナウイルスの影響により学園内だけの開催となりました。ジャンケンゲームなどお楽しみコーナーもありました。毎年恒例のカレーとちまきをみんなで美味しくいただきました。



春のバーベキュー

桜満開のなかバーベキューを企画しました。とてもよく晴れていたこともあり、子どもたちはとても楽しんでお肉をほおばっていました。



避難訓練と芋煮会

避難訓練に加えて消火訓練も行い、非常食についての説明も行いました。その後は芋煮をみんなでいただきました。ホカホカでとても美味しかったです。



創立記念祭

2022年で当園は百十六周年を迎えました。学園のみならずお祝いしました。園長より学園の歴史の説明がありました。普段は聞くことの出来ない貴重なお話でした。創立百十六周年記念おめでとうございます☆



お花見

昼ご飯にお弁当作り、快晴の空の下みんなでお弁当を食べました。外で食べる新鮮で、さらに美味しくいただけました☆



夏のイベント

学園夏祭りをはじめ、アイロンビーズ工作、プールあそび、映画上映会、パフェ作りなど、夏休みに企画しました。夏の子どもたちのパワーには圧倒されますね。今年も楽しい夏休みになりました！



餅つき

今年度も新型コロナウイルスの影響により学園内だけの開催となりました。幼児から高校生までみんなでつき、こねて美味しいお餅ができました。



ぺったんぺったん

クリスマス会

毎年最後の行事となるクリスマス会です。様々な出し物と豪華な料理でも盛りあげました。締めくくりにふさわしい子どもたちの大好きな大好きなイベントですね☆



プール遊び



映画上映



パフェ作り



妙寂寺住職 ごあいさつ

私は新町にありますが浄土真宗本願寺派のお寺、妙寂寺の住職の兜坂と申します。当学園の理事を務めさせて頂いております。平素は当学園に対し格別のご配慮やご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度職員さんの負担を軽減し、少しでも子ども達と過ごす時間をお取り頂くために、「因伯だより」作成のお手伝いをさせて頂くことになりました。読みづらいこともあるかと思いますが何卒ご容赦ください。

さて、私は妙寂寺の第十八代の住職ですが、遡ること第十二代の住職「八雲龍震氏」と坊守(奥様)の「八雲数枝氏」によつてこの因伯子供学園の前身である「因伯仏教孤児院」が創立されました。時は明治39(1906)年、場所は現在のお寺の駐車場あたりであったそうです。

中秋の名月

今年も中秋の名月という事で、さんまを焼きましたが、今年はサンマ以外に鮭やカレイなども焼きました！(笑)もちろん月見団子もいただきました。



喫茶ホームズ

たくさんのお菓子やジュースにこまれて子どもたちの笑顔があふれていました。たろくく食べて満腹、素敵な時間でしたね☆



大変な時代の中、特に八雲数枝氏は院運営はもとより、九人の我が子と二十人から三十人の孤児院の子を分け隔てなく昼夜を問わず養育し、八十歳を超えてからも赤ん坊には添い寝して肌で育てるといふ慈悲の終生を貫いたと聞いております。

この因伯だよりの題字の上に園章がありますが、この中心には仏心(佛心・ぶつしん)と書かれています。仏心とは読んで字の如く仏さまの心を差し、それは仏さまのお慈悲の心のことです。慈悲心とは「あなたの悲しみは私の悲しみ」「あなたの喜びは私の喜び」と自分と同じようにあなたを見てくださる心。即ち相手に寄り添う心のことだと思えます。この慈悲の心で子ども達に寄り添い、養育しようと思われた八雲夫妻のお心が伺えます。

そのお心は役員や職員の方々をはじめ、地域の方々に引き継がれ、百年を超えて今に至っています。今までも今もたくさんの方々に支えられ、子どもにとっての居場所となり続けていることは大変素晴らしい、ありがたいことです。

私もそのお心をしっかりと受け止めて、歴代住職と同じく園の子ども達に何が出来るか考え、支えていこうと思っています。

どうぞ皆様におかれましても、変わらぬご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

妙寂寺 住職 兜坂彰英